

研究機関名：旭川医科大学

| | |
|---------------------|--|
| 承認番号 | 18251 |
| 課題名 | 神経ブロックに伴う鎮静時に有害事象が生じる因子の検討 |
| 研究期間 | 西暦 2019 年 3 月 1 日 ～2026 年 3 月 31 日 |
| 研究の対象 | 2009 年 1 月～2018 年 12 月に当院で閉塞性動脈硬化症に対して手術治療を受けた方 |
| 利用する試料・情報の種類 | <input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：年齢、性別、診断名、手術術式、検査結果、画像診断結果、手術後の経過（低酸素の有無、肺炎の発症の有無など）、麻酔記録より麻酔方法、および手術時間など） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ） |
| 外部への試料・情報提供 | <input checked="" type="checkbox"/> 自施設のみで利用 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究グループ内（提供先： ）（提供方法： ） <input type="checkbox"/> その他（提供先： ）（提供方法： ） |
| 研究組織 | 手術部研究責任者 手術部 小野寺 美子 研究分担者 手術部 黒澤 温 麻酔科蘇生科 佐古 澄子 |
| 研究の意義、目的 | 最近、超音波診断装置の技術向上により、神経ブロックのみで手術の鎮痛を得ることが出来るようになってきました。そのため全身麻酔をするべきか、気道確保をするべきかなど、麻酔方法も大きく変わっています。このように麻酔方法が変わったために新たに出てきた問題点などがないかどうかを、調べる研究です。ここで明らかになったことが今後手術を受けられる方のとても重要な情報となります。 |
| 研究の方法 | これまでに旭川医科大学で手術を受けた患者さんの診療録や麻酔記録や手術記録より、情報をあつめ、手術の前後を含めて体調に問題点がなかったかなどを確認していきます。その中で特定の要因を突き詰めることが出来るように統計学的に比較していきます。 |
| 試料・情報の管理について責任を有する者 | 旭川医科大学 学長 西川 祐司 |
| お問い合わせ先 | 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記 |

の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

TEL：0166-68-2583

旭川医科大学病院手術部 講師 研究責任者：小野寺 美子